

【小樽商工会議所会頭賞】

税について思った事

小樽市立桜町中学校 一年

川尻 大空

僕は、税について初めに頭に浮かんだ事は「消費税」や「高い」という言葉です。消費税は、普段の生活の中で、買い物をする際に「高いなあ」と思いながらも当たり前に支払っています。

僕は、正直にいうと、この作文を書くまで「税」について深く考えた事がありませんでした。今回、この作文を書くにあたって自分なりに税について調べてみました。

まず、日本で本格的に消費税が始まったのは、一九八九年からで税率は三%でその後も五%、八%と少しずつ税率が上がリ、二〇一九年十月からは、十%に上がりました。そして日本での税の使われ方は、道路を整備したり、警察署や消防署など維持したりする公共サービスや病気とケガ、失業、老後の生活など僕たちが健康で安心して暮らせるように定められている社会保障などに使われています。

次に、世界の消費税について調べてみると日本よりも高い消費税の国がある事に驚きました。消費税が二十五%のデンマークです。僕はデンマークの税の使い方に感銘を受けました。なぜなら、デンマークは消費税が高いですがそのおかげで幼稚園から大学までの教育費が無料、他に例えば風邪で病院に行っても、大きな手術で入院をして、医療費は無料です。もし失業しても、失業手当として一年間以前

の給与の九十%が支払われ、また老後は安定した年金制度がある事も分かりました。その結果、デンマークの人々は高い税負担でも生活が保障されているので、国民が納得して税金を支払っているのではないかと僕は思いました。でも、ここで疑問に思った事があります。デンマークと日本の税率の違いはありますが、同じ税金を払っているにもかかわらず、どうして日本は、デンマークのように社会保障が無料にならないのかと思いました。デンマークでは、医療費や教育費、老後の生活など、人生において一番お金がかかる場面でも、国民が支払った高い税金が手厚い保障として還元されるので、子どもから高齢者まで誰もが、不安なく安心して暮らせる環境が整っていると思います。

一方、日本は、社会保障はありますが、デンマークと比べてみると、全てが無料というわけではなく、一生安心して過ごせる保障も充分ではないと思うので、今の生活や将来への不安が少子高齢化につながっているのではないかと思いました。

今回、税について調べてみて思った事は、自分が支払っている税の意味のある使われ方がしているか、もう少し関心を持って生活していきたいと思いました。